

## (3) 大学院学校教育研究科

## ③-1 教育実習

## ア 教育実習委員会設置の趣旨（目的）及び組織

## i) 組織設置の趣旨（目的）

教育実習委員会は、学部及び大学院の教育実習（学部の保育実習を含む。）に関する事項について調査検討することを目的として設置されている。

## ii) 組織の構成及び構成員等

教育実習委員会は、①各専攻・コースから選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）、②学校教育実践研究センター長、③学校教育実践研究センターに所属する教員（特任教員含む）、④附属幼稚園副園長及び附属小・中学校副校長、⑤教育支援課学校実習推進室長、⑥その他学長が指名した者の計30人で構成されている。

また、大学院における実習の責任体制を明確にするとともに効率的な運営を図るため、教育実習委員会に以下の部会を設置した。

## ・ 特別支援学校教育実習専門部会

①特別支援教育コースから選出（学長指名を含む。）された教育実習委員会委員、②大学院授業科目「特別支援学校教育実習」履修者の専門セミナー担当教員のうち特別支援教育コース所属教員を除く教授又は准教授（講師を含む。）の計13人で構成

## ・ 学校支援プロジェクト専門部会

教育実習委員会委員のうち、①教育実践高度化専攻から選出された委員、②学校教育実践研究センター所属の委員から委員長が指名する者、及び③教育実践高度化専攻から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）の計10人で構成

## ・ 教職実践インターンシップ専門部会

教育実習委員会委員のうち、①教育実習委員長及び副委員長、②小学校教育実習部会長及び中学校教育実習専門部会長、③学校教育専攻及び教科・領域教育専攻から選出された委員、④学校教育実践研究センター所属の委員から委員長が指名する者、⑤附属小・中学校副校長で構成

さらに、専門職学位課程（教職大学院）教育実践高度化専攻における実習科目「学校支援フィールドワーク」の円滑な実施を図るため、学校支援プロジェクト連絡会等を設置している。

## イ 運営・活動の状況

## i) 委員会等の開催状況

平成30年	4月4日（水）	第1回教育実習委員
”	5月23日（水）	第1回学校支援プロジェクト専門部会
”	5月31日（木）	第1回特別支援学校教育実習専門部会
”	6月6日（水）	第1回学校支援プロジェクト連絡会
”	6月20日（水）	第1回学校支援プロジェクト連携協力校会議
”	7月24日（火）	第2回教育実習委員会
”	11月7日（水）	第3回教育実習委員会
”	11月20日（火）	第2回学校支援プロジェクト専門部会

〃 11月26日（月） 第2回学校支援プロジェクト連絡会  
平成31年 2月5日（火） 平成30年度特別支援学校教育実習連絡会  
〃 2月27日（水） 第4回教育実習委員会

ii) 審議された主な事項

教育実習委員会及び専門部会における主な審議事項は、以下のとおりである。

なお、教職実践インターンシップ専門部会は、履修登録がなく開催されなかった。

- ・ 特別支援学校教育実習の実施及び成績評価
- ・ 平成31年度特別支援学校教育実習計画の策定
- ・ 学校支援プロジェクト連携協力校の選定
- ・ 学校支援フィールドワークの実施

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

教育実習委員会及び専門部会における審議に基づき、以下のことについて重点的に取り組んだ。

- ・ 特別支援学校教育実習の実施（9月～11月（10日間）、22人、13校）
- ・ 学校支援フィールドワークの実施（9月～12月（150時間）、153人(延べ人数)、43チーム42校・機関（小学校25校・中学校12校・高等学校3校、その他2機関（妙高市、十日町市））
- ・ 県立高校等、個別の学校等へ拡充された学校支援プロジェクト連携協力校でのフィールドワークの実施
- ・ 実習中の危機管理体制の確認

ウ 優れた点及び今後の検討課題等

大学改革に伴い、大学院の学校実習は、多くの大学院生が学校現場に入ることから、円滑な実施及びその実質化を図るため、上越市、妙高市、糸魚川市、柏崎市の4市及び各市長会が協働し7月2日に「学校実習コンソーシアム上越」を設立し、地域で支える体制を整備した。